

欲張りワークショップセミナー

～ OJT形式で習得した「製品開発」をすぐに実務で活用できます ～

成長戦略にすぐ役立つ新製品開発と統合化機能設計

成長戦略として欲しいものを欲しい形で提供しビジネスチャンスを見逃さない新製品開発が実現できます。顧客要求をピッタリと当て、最短の期間で、要求された価格の目標コストが開発できる人材を育成します。

■ 狙い・特長

実存する開発品を対象にしてOJT形式で実績豊富な開発技法を学び、ノウハウ・データベースを用いて、市販ツール(Excel)とPLM専用ツール(Aras Innovator)で習得した成果を自社に持ち帰ります。

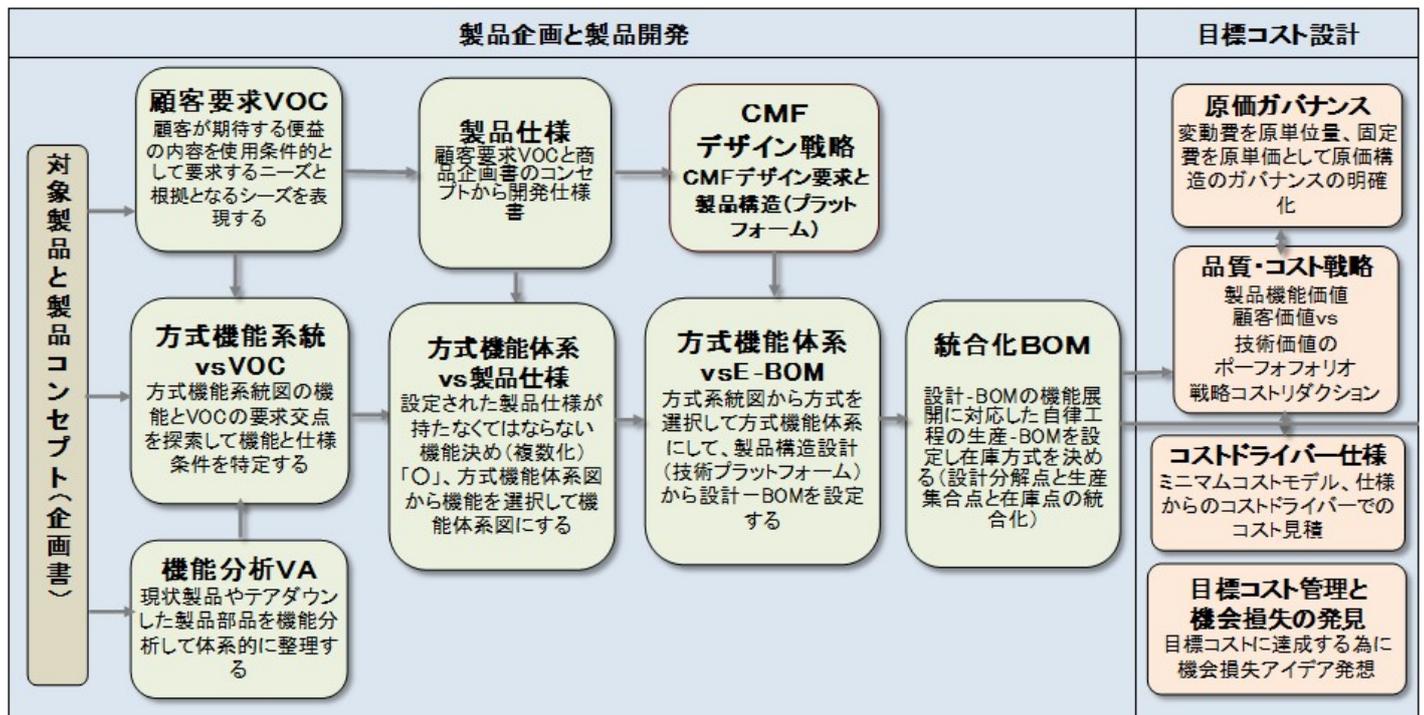
その1：現場の理解とやる気は十分なのに、成長戦略で新製品を短期開発できないのは要員不足のせい…
⇒ 確立された手法の実行フレームワークとデータモデルを活用すれば実現できます。

その2：VEを理解できる人材がいない、目先のコストダウンどまり、本質的なコスト設計ができていない…
⇒ Wheel-VEのデータモデルを活用すれば、機能設計を比較的容易に習得できます。

その3：セミナーでは一般的な知識しか学べない、本当にすぐにでも使える方法は短時間では習得できない…
⇒ データモデル(事例)と思考支援ツールが付属。使いながら製品開発を理解できます。

■ アジェンダ

1. 新製品開発プロセスと機能設計フレームワーク概説
2. VEの基礎と機能設計ステップ(Wheel-VE)の事例
3. 機能設計データモデル(事例)と参加メンバー討議(自社活用に向けて)
4. PLMツール(Aras Innovator)基本機能と統合化機能設計(実習)



実習について：みなさまにサンプルデータを配付し、ノートPCを使って実習します。

各自持参のノートPCに、会場でフリーPLMツール：Aras Innovatorをインストールします。(教材・ツール共に持帰り可)

当日、ノートPCを持参できない/持参PCは使用できない方は、事前に(申込み時)に申し出て下さい。貸与いたします。

- 日時 2013年11月28日(木) 10:00～17:00
- 場所 株式会社ジェムコ日本経営 東京都中央区銀座6-13-16 銀座ウォールビル10階 101会議室
- 定員 10名(指導員3名) 参加費(1名) 3万円
- 主催 (3社共催)
(株)統合化BOM研究センター (株)ジェムコ日本経営 応用技術株式会社

講師紹介

株式会社 統合化BOM研究センター

代表取締役 山口 吉郎

- ・公益社団法人 全日本能率連盟 認定
マスター・マネジメント・コンサルタント

- ・中小企業診断士
- ・ジェムコ日本経営に入社。「経営コンサルタント」として、約20年にわたってお客さまの課題解決を支援してきました。その後統合化BOM研究センターを設立。



- 統合化 BOM 研究センターは、**ゼネラル業務モデル**の仕組革命、モノづくり革新の**自律工程 VITAL** モデルを基盤にした**統合化BOM研究**から、**Profit Wheel-V E**や**コストエンジニアリング**の製品開発の技術体系を提供してきました。

■ 統合化BOMの導入実績

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| ■ 工作機械製造販売 | 受注製品仕様管理と統合化生産管理システムの構築 |
| ■ 半導体製造装置製造販売 | 統合化BOMによる設計生産統合とPLMシステム導入 |
| ■ 韓国グローバル企業 | Profit Wheel-V Eと製品開発ロードマップ支援 |
| ■ 電装機器製造販売 | グローバルコストガバナンスの原価管理システム構築企画 |
| ■ 住宅建材製品製造販売 | 新製品開発から生産立上げ統合化BOM生産管理 |
| ■ 食品加工機製造販売 | 新製品開発と統合化BOMによる目標コスト設計 |
| ■ インテリア介護機器製造販売 | 製品機能設計とリスクアセスメント実施研修 |
| ■ 医療機器製造販売 | 統合化BOMによるPLMと生産管理システム構築 (途中) |
- など

株式会社ジェムコ日本経営

VE指導コンサルタント 藪谷 理絵

- ・公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会認定 VEリーダー
- ・某暗号研究所を経てジェムコ日本経営入社。ナレッジマネジメントプロセス構築、物流現場生産性向上、製造現場改善、設備購買基準化コストダウン、都市開発事業の仮想空間化、等を支援してきました。

応用技術株式会社

Aras導入コンサルタント 友廣 哲也

PLMの導入ならびに導入前後のPLMの教育・定着に長年従事。大手自動車メーカーの二輪部門のBOM立ち上げにも参画し2年間で軌道に乗せる。3年半前、Aras Innovatorの日本上陸と同時に機能検証を行い、以降、普及活動に従事。多くの大手企業に教育と導入支援を実施してきました。

参加申込書

会社名	氏名	所属	パソコン持ち込 可 否
期待事項			

統合化BOM研究センターへの直接申込みの場合 <http://www.tbom.co.jp/>